



みんなで作った音楽鑑賞会～3年生の思い出作りに力を合わせて～

思えば新型コロナの影響で諸行事が中止になり、高校生活最後の3年生はずいぶんつらい思いをしてきました。今年予定していた3年に1度の芸術鑑賞も中止になり、そこで心を痛めた音楽科のY先生と3学年担任の先生は、コロナ対応をした本校独自の音楽鑑賞会を企画しました。それは、Y先生の知り合いのプロの音楽家をお招きし、有志の先生方とで手づくりの演奏会をしようというアイデアです。

先生方もひそかに放課後に集まり練習を続けてきました。さて2月18日当日、3年生の登校日にあわせて開催しました。音楽会は3部構成。3学年は3クラスなので、1部ごとに音楽室へクラスを入れ替えての鑑賞です。あるクラスが音楽室に入っているときは、他の2クラスは教室でオンライン鑑賞をしました。プロの音楽家の演奏は素晴らしく、先生方の手によるサプライズ演奏も、驚きとともに聴き入ってくれました。結果は大成功。3年生は大喜びしてくれました。3年生の思い出に残る催しになったのではないのでしょうか？



長野市から来てくださった演奏家、村田淳一さんと澤村桜子さん



3年担任K先生を中心とする「3年生喜ばせ隊」による、『キセキ』演奏



2人のY先生と、私による「今日のお料理」



プロ顔負け。Y先生のマリンバ演奏



3学年主任S先生とY先生の重奏「星に願いを」



3学年F先生のフルートとプロのコラボ「花は咲く」



企画者Y先生による「ガブリエルのオーボエ」重奏



H先生の渋いサクソ「木星」

3年生の登校日 ～久しぶりの活気が校舎に戻る～

3年生は1、2年生より早く1月に学年末考査を終え、2月から自宅研修期間に入っています。校舎の3階はシンと静まり返り、学校全体がひっそりとしていた2月でした。今日2月18日は3年生の登校日。久しぶりに元気な顔で3年生が登校してきました。18日ぶりに見る彼らの顔は少し大人びて見え、これから社会に羽ばたくたくましさを感じられました。しかし、友人たちと久しぶりに会った瞬間……元に戻っていました。



困ったお話(その26) (本格推理小説? 「姿なき狙撃手②」)

○前回のあらすじ ある夜、謎の狙撃手に校長室を狙われた私は、翌朝犯人の手がかりを探していた。窓の外には豆のようなものが落ちていた。さあ、謎は解けるのか!?

しかしその豆を見ると、ずいぶん平べったくて大きく見たこともないものだ。私は誰も見ていないか左右を確認しかじってみたら「ぺっ」、食べられたものではない。その時だ。「ぱしっ!」と何かのはじける音が。横を見ると藤棚があり、実のさやが揺れている。それを見て謎が解けた。力が抜けた。

『犯人は藤の実だ』

Web で調べてみると随筆家で科学者でもある寺田寅彦が書いた文章にヒットした。やはり家族が似たような体験をしたそうで、物理学者である彼はあんな軽い種が「毎秒10m ぐらいの初速」で飛ぶと記し、その威力に驚嘆している。



狙撃犯の正体見たり!

(追記)

皆さんは、前号の写真ですぐお分かりだったかも。先生方にも訊いてみたところ、T先生は『校長先生、その日は節分なので生徒が校長室に豆をまいたのでは?』と、名推理を披露してくれた。

これが真実だったら、生徒は校長室に向かって「鬼は外」と言ったか「福は内」と言ったか、推理したいところだ。